

病院ライブラリー 開設10周年記念誌



●目次

| | |
|--------------------------|----|
| 病院ライブラリー 10 周年に寄せて…………… | 3 |
| ・ 看護部長・病院ライブラリー委員長 原口真紀子 | |
| ・ 病院長・平田哲 | |
| ・ 前看護部長・上田順子 | |
| ・ 前病院長・松野丈夫 | |
| ・ 10 年のあゆみ…………… | 7 |
| ・ 利用状況データ…………… | 8 |
| ・ 利用者の声…………… | 9 |
| ・ ライブラリーイベントの様子…………… | 10 |
| ・ ライブラリー通信…………… | 11 |



病院ライブラリー10周年に寄せて

患者参加型の医療を支援、患者さんがくつろぎ
憩いの場となるよう、さらなる発展を。

看護部長／病院ライブラリー委員長 原口真紀子

病院ライブラリーは、平成19年4月に患者さんやご家族が病気や検査・治療について理解を深め、自ら意思決定し、医療に参加できる環境を整えることを目的に設置され、本年4月で10周年を迎えることができました。開設から10年を迎えるイベントとして、昨年10月に、読み聞かせの会を開催しました。緩和ケア診療部の阿部泰之医師より、自らの著書を基に、「痛み」について興味深い内容を講話していただきました。また、ライブラリーのスタッフである帯川美保子氏による絵本の朗読は、表情豊かな音声で、物語に浸るひと時となりました。

10年間で旭川医科大学病院の様相も変化し、病床稼働率の上昇、在院日数の短縮により、入院している患者さんの多くが12～13日間程度で退院します。また、インターネットが普及し、患者さんの多くがスマートフォンを携帯し、必要な情報を簡単に入手できる環境となりました。しかし、病院ライブラリーを利用する患者さんからは、「病院の中に心を休める場所があり嬉しい」「自分の病気や治療方法について知りたいと思っていた本があった」「子ども向けの本が充実している」などご意見をいただいております。

現在、病院ライブラリーの職員は病院職員1名と4名のボランティアの皆さんがローテーションを組んで運営しております。ライブラリー通信を発行し、本の紹介やライブラリー内のイベントを案内しています。新しい本の紹介では、わかりやすく優しい言葉で紹介されており、本を手にとってみたいくなります。ライブラリー内のイベントでは、折り紙によるお雛さまや鯉のぼりの作成、暑中お見舞い用のポストカードの作成など、季節に応じたイベントを企画し、患者さんやご家族が参加され、憩いの場となっております。

私は、上田順子前看護部長の後任として、平成28年4月より病院ライブラリー運営委員会の委員長となりました。開設当時から大切にしてきた、患者・家族が健康や病気に関する情報を自ら検索し意思決定する、患者参加型の医療を支援する、そして、患者さんがくつろぎ憩いの場となるよう、患者さんやご家族の視点に立ち、各部門の皆様と連携し、さらに発展させてゆきたいと思っております。



医師や看護師等からの一報的な情報だけでなく
主治医の先生との話し合いの参考になる資料提供の場を。

病院長 平田 哲

病院ライブラリーの開設10周年記念誌」の発刊にあたりお祝い申し上げます。

病院ライブラリーは平成19年に開設されました。本院入院中の患者さま、ご家族の皆さまに、ご病気についての知識を深めていただけますよう、専門的な医学書や家庭の医学書、ビデオなどをご用意し活用いただいております。また、種類も病気の本ばかりでなく、最近の話題の一般図書なども少しずつ増えており、利用法も患者さま個々で考えられ、活用数も増加してきています。場所は病院東病棟の1階で、部屋が木目調の静かな環境の中でご利用いただけるように配慮されております。

最近の医療は、医師や看護師等から情報を一方的に得るだけでなく、希望により、患者さまご自身が情報を得られる参加型の医療がいろいろな場面で求められております。病院ライブラリーでは、一般図書だけでなく、DVDなどの画像やインターネットによる情報検索もでき、主治医の先生などと話し合いを進める上での参考となる資料として患者に活用いただけます。

また、病院ライブラリーでは旭川市内の絵本サークルの皆さんや緩和ケア診療部の先生、スタッフによる読み聞かせの会が開催されました。他にもイベントとして、テレビドラマ化された本の特集や、貼り絵で作る絵はがき、折り紙での小物作りなども開催いたしました。

病院として、今後も本院ライブラリーがより充実するよう、職員ともども努力してまいります。皆様のご支援もよろしくお願いいたします。



病気についての理解、知識とともに癒やしの空間としても患者さんに必要とされる場所に。

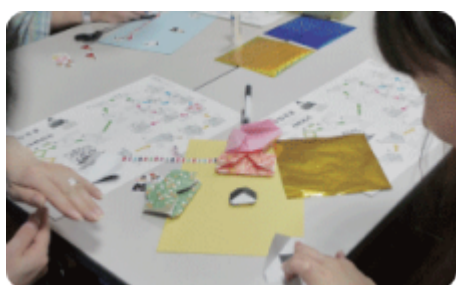
前看護部長 上田 順子

病院ライブラリー開設10周年おめでとうございます。

5周年の際には、記念誌を発行し、記念イベントとして旭川市内の絵本サークルの皆さんをお迎えし「読み聞かせの会」を開催しました。

また、平成27年からは外来の患者さんやご家族への一日貸出しも始め、外来の待ち時間をライブラリーで過ごされる方も増えてきました。入院中に利用されていた患者さんが退院後初めての外来通院時にお見えになり、閲覧されるようになりました。蔵書も定期的に入れ替え、患者さんのニーズに応えられるように努めており、患者さんに必要とされる場所になったことを実感していました。

月間イベントも充実してきており、読み聞かせ会、ちぎり絵、小物入れづくり等、毎回ボランティアさん達が趣向をこらして準備して下さいます。患者さんや、ファミリーハウスに宿泊中のご家族の方、訪問学級の生徒さん達など多くの方々の参加を得るようになりました。これからも、一人でも多くの患者さんやご家族がご自身の病気について理解を深め、知識を共有し、病院の中でホッとする、癒しの空間として、あり続けてほしいと願っています。



患者ファースト。

前病院長 松野 丈夫

病院ライブラリーが当院に設置された平成19年4月から10年が経過しました。その間ライブラリーの運営と医療関係の書籍やDVDはもとより、一般書や娯楽DVDなどの充実に努力されてきた関係者の皆様に感謝いたします。

昨年からトランプ米国大統領や小池東京都知事が口にする「America first」や「都民ファースト」という言葉がマスコミを賑わせています。しかし「・・・ファースト」という言葉が最も尊重されなければならないのは医療（病院）の分野、即ち「患者ファースト」の世界だと思えますし、病院で働く私たちは常に「患者ファースト」のサービスを考えて行動すべきだと思えます。その意味でも病院ライブラリーは「患者ファースト」の精神が最も良く活かされた患者サービスの1つではないかと思えます。5周年記念誌にも書かせていただきましたが、私が40年以上前に留学していたマサチューセッツ総合病院には当時既に病院ライブラリーがありましたし、入院患者はボランティアの方々が台車に乗せて運んでくる沢山の額の中から自分の好きな額を選び病室に掛けて楽しんでおりました。病院として、病院職員として患者さんに出来るだけ楽しい病院生活を送っていただくという精神が病院中に息づいておりました。また私がMGHの直後に留学生活を送ったMayo Clinicが全職員に要求している第1のモットーは「患者のニーズを最優先する」ことでした。病院内で起こるあらゆる局面において「患者にとって一番いいこと、最善の策、は何だろう」と考え、行動することです。

旭川医大に入院している患者さん方が実際に受ける医療以外に何を求めているだろうと考えることで設置されたものの1つが病院ライブラリーではないかと思えます。病院ライブラリーが今後益々充実・発展し、旭川医科大学病院が今までより以上に「患者のニーズを最優先する病院」になっていくことを希望します。

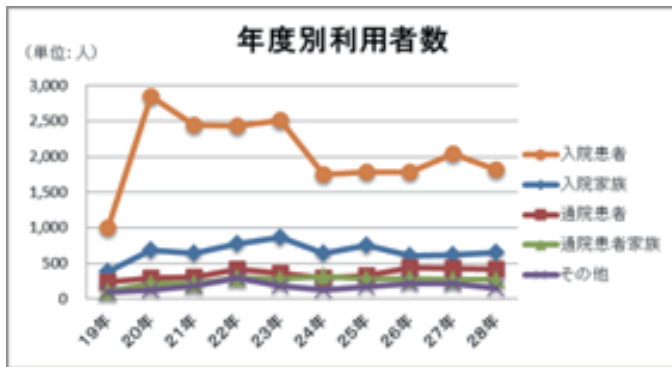


10年のあゆみ

- 平成 19 年 1 月 病院ライブラリー設置準備委員会開催
- 平成 19 年 4 月 病院ライブラリー開館（月～金：9：30～13：30）
- 平成 19 年 11 月 一般書貸出開始
- 平成 20 年 5 月 開館時間延長（月・水・金 9：30～16：00）
- 平成 20 年 11 月 ホームページ開設
- 平成 21 年 3 月 医学書の一部貸出開始
- 10 月 すべての医学書の貸出開始
- 平成 22 年 6 月 開館時間延長（月～金 9：30～16：00）
- 平成 23 年 4 月 点滴センターへ一般書貸出開始
- 平成 24 年 4 月 開館 5 周年
- 8 月 開設 5 周年記念誌発刊
- 10 月 5 周年記念イベント開催
- 平成 25 年 7 月 北海道メディカルミュージアム端末設置
- 平成 27 年 7 月 外来患者への一般書貸出開始
- 平成 29 年 4 月 開館 10 周年



利用状況データ



- ・医学書 約 1,300 冊
- ・一般書 約 1,300 冊
- ・疾病に関する DVD・VHS 等視聴覚資料 約 160 本
- ・娯楽用 DVD 約 130 本
- ・パンフレット類 約 110 種
- ・インターネット検索用端末 2 台
- ・DVD・VHS 機器 3 台
- ・旭川医科大学メディカルミュージアム端末 3 台

患者さんと
ものご家族へ 図書も貸出しています

| 入院中の患者さん とものご家族 | 通院中の患者さん とものご家族 |
|--------------------|----------------------|
| ●一般書 2冊まで・一週間 | ●一般書 1冊まで・当日限り |
| ●医学書 1冊まで・3日間 | ●医学書はライブラリー内をご利用ください |

※辞典・辞書など貸し出しのいらない図書もごさいませ

●病院ライブラリー地図



利用者の声

以前入院した時 この図書館から本を借りて読みました。
今まで、見たことない本で嬉しかったです。
病院の中にこのような心安める場所があり嬉しいです。
<女性>

開設10周年おめでとうございます。こちらの病院に入院する度に利用させていただいています。

治療が長引き、部屋で何もすることがない日々をライブラリーは、本を通して様々な物語と知識を私に伝えてくれました。熱中して本を読み進めていくうちに、頭の中は本のストーリーに満たされていきます。

2年前やそれよりも前に入院した際に読んだ物語は今も私のなかに残り続けています。

<男性>

小規模ながらそれなりに充実したスペースだと思います。位置としてわかりにくい所が人を寄せつけないのでしょうか。医大の医師でさえわからない方もいるようです。

<男性>

今回、腰の手術で入院しました。家族に本を借りてきてもらったのですが、家族の者が図書の方に私の病名を言うとうすぐに本を持ってきてくれたそうです。

またその本が、私が探していた本とピッタリ一致！！
病室でじっくり読みました。病態や治療方法、リハビリ、今後の予防方法、注意点、再発したら・・・など詳しく書かれていて、とてもためになりました。(スマホで大事なところ写真にとって残しました！)

自分の病気をよく知る、自分で再発予防(なかにはできない病気もありますが)方法を知ること、退院後の生活も変わってくると思います。今後も患者さんや家族 etc・・・の知識を広げられるような場を、安心につながる場を続けていって下さい。

<女性>

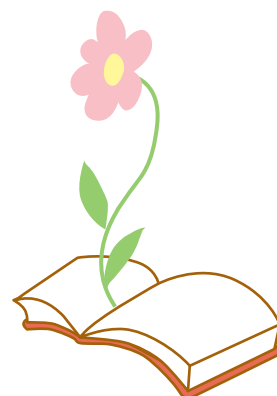
入院中の気分転換に利用させていただいております。子供向けの本も充実しており、大変満足しています。

これからも入院時には利用させていただきたいと思います。

<男性>

いつも利用させていただいています。静かに医学、病気などの本などを読んだり、パソコンで調べたりできるので、とても重宝させていただいております。有りがとうございます。

<男性>



ライブラリーでのイベント

病院ライブラリーでは、5周年を迎えた2012年に記念誌を発行するとともに、ライブラリー内での記念イベントを開催しました。

それ以降、年度内に3回のペースでライブラリーイベントを開催しております。



病院の中にあって“医療情報提供の場であると同時に、静かできつろげる場所”としてご利用いただいているライブラリーが、イベントのひとつ、笑顔や明るい声であふれる空間となります。ご参加いただいた患者さんやご家族に心休まるひとときを提供するとともに、付き添いの看護師、職員、ボランティアも患者さんたちと楽しいひとときを共有できる貴重な機会となっております。

2012年(平成24年度) 10月25日 病院ライブラリー5周年記念 「絵本読み聞かせの会」

2013年(平成24年度) 2月28日 「折り紙でつくるおひな様作りの会」

2013年(平成25年度) 7月18日 「貼り絵で作る絵はがきの会 - 夏 -」



2013年(平成25年度) 11月7日 「読み聞かせの会・お話しの世界を楽しみませんか？」

2014年(平成25年度) 3月13日 「ベッドサイドで使える小物入れ作りの会」

2014年(平成26年度) 7月17日 「ちぎり絵風絵はがき作りの会」

2014年(平成26年度) 10月30日 「“素語りの会”～想像の翼を広げてお聞きください～」

2015年(平成26年度) 2月26日 「作って飾ろう！おり紙のおひなさまの会」

2015年(平成27年度) 7月23日 「ステンシルで絵はがき作り」



2015年(平成27年度) 10月23日 「臨床からの思いをえほんに
～緩和ケア診療部阿部医師による読み聞かせの会～」

2016年(平成27年度) 2月18日 「さるぼぼ付きの小物入れ作りの会」

2016年(平成28年度) 7月21日 「貼り絵で作る絵はがきの会」

2016年(平成28年度) 10月28日 「読み聞かせの会」



2017年(平成28年度) 2月16日 「折り紙を楽しむ会 おひなさまを作ろう！」

● イベントの詳細な様子は、旭川医科大学病院のウェブサイト内にある、病院ライブラリーページでご覧になれます→ <http://www.asahikawa-med.ac.jp> (ライブラリー News!! のページ内)

病院ライブラリー通信

病院ライブラリー通信は、ライブラリーをご利用される方の情報誌として、また、病院ライブラリーをまだご存知ない方々に存在をお伝えする広報誌として、ライブラリー開館の2007年より定期的に発行されています。

内容は主にライブラリーまでの案内図や、蔵書している本の紹介をはじめ、新しく入ってきた本のお知らせ、イベントのご案内や開催のご報告、利用者さんの声など、図書とライブラリーの様子をお伝えする構成で制作されています。

入院患者さんやそのご家族だけでなく、外来の患者さんにも手にとりいただけるよう、ライブラリー内の他に、院内の掲示板やパンフレット棚などに置いてあります。



←記念すべき第1号

5周年記念→
イベントの
特集号



←2017年6月発行
案内図をリニューアル

イベントのご案内を→
掲載している号

- ライブラリー通信は、旭川医科大学病院のウェブサイト内にある病院ライブラリーページでバックナンバーを含め、全てご覧になれます→<http://www.asahikawa-med.ac.jp>